

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	選択中国語第一		
英文授業科目名	Elementary Chinese (Elective) I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	范 建明		
居室	東1-514		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fanming@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
中国語の発音・基礎会話の習得。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
中国語第一

【教科書等】
(例) 教科書：教室で指定します。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

本講義は月曜日の中国語第一だけでは物足りなくもっと学びたい、もっと練習したい学生さんのためのものです。こうしたことを念頭において月曜日の中国語第一の授業とうまくかみ合いながら発音や会話の練習に重点を置きます。まず21個の子音と36個の母音と4種類の声調からなった中国語の発音に重点を置き、その基本知識と発音要領をわかりやすく説明し、多数の実例の発音練習によって中国語の正しい発音を身につけさせます。そのうえで、中国語の言葉・連語・文の構成などの基礎文法を学習していきます。なお、中国の文化、風土、中国人の生き方及び中国の最新事情にも触れます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席・授業参加・定期試験によって総合評価をする。

出席：30%

授業参加：30%

期末試験：40%

【オフィスアワー：授業相談】

時間帯は特に設けません。質問・相談があれば、随時応じます。

電話などで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

中国語は第二外国語として開講していますが、近年、中国語を第一外国語として学ぶ学生が年年増えていきます。例えば、交換留学制度を利用して中国の名門大学上海交通大学（電通大の姉妹校）に留学に行った学生は、2002年度年は1人、2003年度年は2人。他にも、一か月や三か月、半年の短期留学に参加した学生も結構いました。中国語学習は一時期のブームではなく、時代の流れになっています。こうした時代の流れをしっかりと掴んで下さい。

【その他】